文学関連イベント

3/7（土） ZINEスタジアム

個人やグループで作った作品を展示販売する「ZINEスタジアム」を岡山ドームで開催します。会場には、文章や写真、絵など、クリエイターたちが自由に表現した本が並びます。製作者と直接話をして楽しんでください。

【日時】2026年3月7日（土）　11:00〜16:00
【場所】岡山ドーム（岡山市北区北長瀬表町）

3/20（金・祝） 3/21（土） 文芸商店街

全国から人気の書店や出版社、移動図書館、ワークショップブースなどが集まる「文芸商店街」を開催します。自分にとって人生の一冊、という本に出会えるかもしれません。ぜひお越しください。

【日時】2026年3月20日（金・祝）、21日（土）
11:00〜16:00
【場所】表町商店街（上之町）&しろちか広場（岡山市北区表町）

関連書籍

2月下旬発売予定

坪田譲治作品集

心の遠きところ はじめての坪田譲治

坪田譲治 作　山根知子 編
発行 小峰書店　企画 岡山市文学賞運営委員会・岡山市

「風の中の子供」をはじめ、今こそ読んでほしい坪田作品珠玉の9編を収録！

坪田譲治文学賞創設40周年を記念して、坪田譲治作品集を出版します。『心の遠きところ はじめての坪田譲治』は、「河童の話」「きつねとぶどう」「風の中の子供」など、故郷・岡山を愛した作家 坪田譲治が残した、愛情あふれる物語を集めた一冊です。初めて坪田作品を読む方、これまで読んだことがある方、大人も子どもも楽しめる作品集となっています。

●予価：（本体2,000円＋税）　●四六版/ハードカバー　●216ページ

UNESCO CREATIVE CITIES OF LITERATURE
OKAYAMA INTERNATIONAL MEETING

ユネスコ文学創造都市 おかやま国際会議

文学創造都市おかやま
unesco Member of the Creative Cities Network

文学創造都市おかやま国際会議シンポジウム

開催日 2026年2月11日（水・祝）

会場 岡山コンベンションセンター 1階イベントホール

【お問い合わせ】
文学創造都市おかやま国際会議シンポジウム事務局
TEL：070-6578-4898　10:00〜17:00（土日・祝日を除く）

一般財団法人 自治体国際化協会
※この事業は、一般財団法人自治体国際化協会の助成事業により実施されています。

「文学創造都市おかやま国際会議」とは

岡山市では、文学と本にまつわるイベントが盛りだくさんの「おかやま文学フェスティバル」が開催されています。本を読むのが好きな人、作るのが好きな人、作り手と話すのが好きな人たちが集まっています。こうした文学が息づいているまち「ユネスコ創造都市ネットワーク・文学分野加盟都市」が、世界中に63都市あります。岡山市で初めて開催する「文学創造都市おかやま国際会議」には、エディンバラ（スコットランド）、メルボルン（オーストラリア）、シアトル（米国）などの文学創造都市から担当者が集まり、シンポジウムで取り組み紹介などを行います。

プログラム

12:30～　入場受付開始　※席は自由です。先着順で入場いただきます。

14:00～　第一部　嵐に揺るがない石　～火山岩の上に築かれた文学のまち～

2004年に世界で初めてユネスコ文学創造都市に認定され、毎年600を超える文学イベントを開催しているエディンバラ（スコットランド）より、文学創造都市エディンバラのディレクターであるハリエット・マクミラン氏が登壇。エディンバラの取組事例を紹介します。

14:40～　第二部　対談「創作の原風景」　※録音・録画・撮影は禁止です。

小川洋子さん、中脇初枝さんをお迎えし、「創作の原風景」というテーマでの対談。これまでの作品づくりの中で、どのような原風景を思い浮かべて創作をされてきたのか、お二人の作家人生のルーツを辿りながら語っていただきます！

『博士の愛した数式』**小川 洋子**×『きみはいい子』**中脇 初枝**

おかやまブックスタンドも開催中！

岡山コンベンションセンター1階ロビー
【開催時間】11:00～17:00

国際会議シンポジウムに合わせて、おかやま文学フェスティバルなどに出店している岡山の書店や出版社が書籍などを販売します。どなたでも来場可能です。

出店店舗：●451ブックス　●古本斑猫軒　●本の森セルバ　●吉備人出版　●ちいさな本や マルコ　●ブックスオカムラ

登壇者紹介

第一部

Edinburgh City of Literature

ハリエット・マクミラン　Harriet MacMillan

エディンバラ・ユネスコ文学創造都市トラストのディレクターを務める。英国で芸術・創造産業を担う機関である「クリエイティブ・スコットランド」文学部門での勤務を経て、英国とアイルランドにおける詩人賞の運営を担当。エディンバラ大学、オックスフォード大学を卒業。博士論文では古代神話の現代フェミニスト的再解釈を研究。詩と散文の著作がある。

第二部

小川 洋子　OGAWA Yoko

小説家。1962年岡山市生まれ。子どもの頃から本を読むのが好きで、自分もお話を作る人になりたいと、ずっと願っていた。1988年に当時の福武書店が刊行していた文芸誌「海燕」の新人賞でデビュー。1990年に『妊娠カレンダー』で芥川賞を受賞。以来、ずっと小説を書き続けている。主な著書は『博士の愛した数式』『ミーナの行進』『猫を抱いて象と泳ぐ』『アンネ・フランクの記憶』など。

中脇 初枝　NAKAWAKI Hatsue

作家。徳島県に生まれ、高知県で育つ。坪田譲治文学賞選考委員。高校在学中に『魚のように』で坊っちゃん文学賞を受賞しデビュー。筑波大学で民俗学を学び、創作とともに昔話を再話し語る。『きみはいい子』で坪田譲治文学賞受賞。主な著作は『世界の果てのこどもたち』、『伝言』、日本で初めて女性参政権を求めた女性・楠瀬喜多の評伝小説『天までのぼれ』など。

「ユネスコ創造都市ネットワーク」とは

ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN：The UNESCO Creative Cities Network）は、ユネスコの事業として2004年に創設されました。創造性(creativity)を核とした都市間の国際的な連携によって、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指すものです。創造都市には、文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化、建築の8分野があり、各都市はネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力などを行っています。世界で408都市、文学分野で63都市がUCCNに認定されています。（2025年10月末現在）岡山市は、2023年10月に、日本で初めて文学分野でユネスコ創造都市に認定されました。

文学創造都市 おかやま　unesco Member of the Creative Cities Network

「文学創造都市おかやま」のこと

岡山市は文化・芸術分野における魅力あるまちづくりを進めており、文学においても「岡山市文学賞」や「市民の文芸」など長年にわたり全国に誇れる取組を継続しています。また、日本で最も有名な昔話である「桃太郎」のルーツは岡山にあり、岡山のシンボルとして広く浸透し、銅像、通りの名称、土産、祭りなど様々なところで取り入れられてきました。この他に、18世紀には日本で初めてとなる民間図書館が設置され、誰もが本を手に取り学ぶことができない時代においても、地域の教育を推進してきた歴史があります。

こうした中、岡山市では新たに産学官が一体となった組織を設立し、文学を軸とした創造都市づくり事業を推進していくこととしました。2023年10月にユネスコ創造都市ネットワーク・文学分野に、日本で初めて認定されたことをふまえ、この推進会議を基盤とし、多くの方々と協力しさらに文学を活用した事業展開を進めています。

公式サイト はこちら